

## V 研究活動と研究環境

### 1 専任教員の教育・研究業績

所属 英語観光学科	職名 教授	氏名 箕野 聡子	大学院における研究指導担当 資格の有無 (有)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年月日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)			
1) 視聴覚教材の活用・アクティブラーニングの活用	2003(平成15)年4月 ～現在	一方的な講義形式になりがちな文化・文学の授業において、資料DVD、パワーポイントを活用することによって、作品への理解や関心を深めるようにしている。さらに、学生によるパワーポイント発表と受講生による質疑応答を適宜取り入れ、プレゼンテーションの練習とそのフィードバックを行っている。	
2) 授業確認の作業	2003(平成15)年4月 ～現在	授業の理解度をはかるために、毎回授業終了時に小レポートを提出させるか、ノートを提出させる。小レポートの課題については、授業開始時に知らせることで、授業への集中力をうながしている。また、ノートを提出させるときには、あらかじめ講義に沿った書き込み式の用紙を配る。小レポートもノートも、教員がチェックし次週に返却し、フィードバックを行う。	
3) ゼミにおけるメーリングリストの利用	2006(平成18)年4月 ～現在	ゼミ生全員が電子メールの利用が可能であることを踏まえ、メーリングリストを利用し、各種連絡、質問・回答、などに利用している。これにより、講義時間外のゼミ準備作業や論文作成時などでも、学生とのコミュニケーションがとれ、円滑に学習を進めることが可能となっている。近年はグループLINE・Googleクラスルームも利用している。	
4) 授業の組み立ての工夫 (時間の分割)	2003(平成15)年4月 ～現在	長時間同じ話題に集中することができない近年の学生の傾向にあわせ、授業では15分以上同じ話題が続かないように工夫している。学生間の討議や視聴覚教材を挟むなどし、アクティブラーニングも取り入れつつ、常に顔が上がるように、刺激を与えるように、授業プログラムを組んでいる。	
5) 新聞への投稿による文書力の育成	2009(平成21)年4月 ～現在	「日本語文章構成法」においては、読者を意識した文章を書く練習を行う。まずは作成した書評の図書館常時展示により、学内の読者を意識した文章作成を研究する。その後、社会問題を取り扱った内容で新聞への投稿原稿作成を行う。一般読者を意識した文章作成の訓練は、学生の学習意欲を高めている。13年間で36名の原稿が新聞に掲載された。	

6) 企業公募への応募による社会調査力の育成	2010(平成22)年10月～現在	「日本語文章構成法」では、コピー作成技術の習得とともに、時代や企業からのニーズを正確にくみ取る訓練として、学生が自主的に、公募されているネーミングコピーに応募する方法を導入した。実際に入選するには、企業や時代のニーズを正確に読み取る必要がある。結果として、「まちづくり標語懸賞」の特選をはじめとし、高等学校のマスコットや新設設備のネーミング、エッセイコンクールなどで、入賞を果たしている。
7) ハイブリッド授業の導入	2020(令和2)年4月～現在	新型コロナウイルス感染防止対策のため、2020年4月からは、zoomやmeetを使ったオンライン授業とともに、YouTube動画を利用して授業を提供するオンデマンド教材を使った授業を行ってきた。2021年10月からは、リアルタイムの対面授業が始まったが、これら授業も、すべてオンライン配信し、希望者は自宅から学修できるようにした。Googleクラスルームを利用して、資料をデータで共有し、課題提出もオンラインで行えるようにした。
8) クラブ活動の指導	2001(平成13)年～現在	2007年よりアナウンス研究会・2009年より文化研究会の顧問をし、学生の個別指導にあたった。特にアナウンス研究会はNHK全国放送コンテストで第24回の朗読・アナウンス二部門で優勝し、第27回のDJ部門で本選出場を果たした。文化研究会では、韓国からの留学生を部員に迎え、異文化交流を行った。2016年には文化研究会の主催公演を企画し、六甲アイランドオルビスホールで「K O B E 発信!! スタイリッシュな伝統芸能」と題した英語寄席を催し、神戸からの文化発信を行った。アナウンス研究会は毎年12月、FM Moov(神戸元町)で、他大学との合同生放送を行っている。
9) 委員会活動	2001(平成13)年～現在	2022年度は、学報編集委員会・入試運営委員会・入試広報委員会大学案内作成委員会・自己点検評価委員会・地域交流・生涯教育委員会(委員長)・ハラスメント委員会の委員を務めた。
10) 「海星学」でのアクティブラーニング	2014(平成26)年～2018(平成30)年	英語観光学科では、授業の中で、大学のある青谷町の観光企画を行ってきた。中でも、2014年度の「都賀川」の研究は、灘区安全安心まちづくり研究助成金を受けるまでに発展し、2016年度まで外部依頼を受けてまち歩きボランティアガイドを行った。社会に出る準備として、身近な地域とつながる試みは、同時に大学広報の役割も兼ねることになった。2017年度からの2年次生の「海星学」では、ひょうごツーリズム協会主催の学生ボランティアガイドによる「まち歩き」に参加し、大学周辺の歴史・文化を紹介する企画を実行した。
2 作成した教科書、教材、参考書		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		

<p>1) 生涯学習 神戸文学館 土曜サロン 「青谷文学散歩」</p>	<p>2013 (平成25) 年4月～ 2021 (令和3) 年4月</p>	<p>2013年より、毎年4月に定期的に行っている講座である。神戸文学館を発着地とし、大学のある青谷を含めた地域を散策する講座である。谷崎潤一郎、田辺聖子、横光利一、岡部伊都子、村上春樹、小川洋子らゆかりの作家についての解説を加えながら、灘区の文化的な歴史を見直す講座とした。</p>
<p>2) 生涯学習 宝塚公民館 「関西文化に育まれた文学」 (全8回)</p>	<p>2017 (平成29) 年6月～ 2018 (平成29) 年1月</p>	<p>1927 (昭和29) 年は「神戸開港150年」を迎える。神戸と関わりのある作家たちが摂取した異文化を、どのように作品に結晶させたかを読み解いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 6月 石川達三「蒼茫」</li> <li>② 7月 大岡昇平「歩哨の眼について」</li> <li>③ 8月 与謝野晶子「君死にたまことなかれ」</li> <li>④ 9月 有島武郎「或る女」</li> <li>⑤ 10月 夏目漱石「夢十夜」</li> <li>⑥ 11月 永井荷風「狐」</li> <li>⑦ 12月 佐藤春夫「西班牙犬の家」</li> <li>⑧ 1月 今東光「お吟さま」</li> </ul>
<p>3) 生涯学習 神戸海星女子学院大学「関西文化が育んだ文学秋コース (全10回)」</p>	<p>2017 (平成29) 年5月～ 2018 (平成30) 年1月</p>	<p>関西文化の影響を受けた1作家の1作品を詳細に読み解いた。(小川洋子「ミーナの行進」)</p>
<p>4) 生涯学習 宝塚公民館 「関西文化に育まれた文学」 (全8回)</p>	<p>2018 (平成30) 年6月～ 2019 (平成31) 年1月</p>	<p>近代化の進む神戸と伝統を守る京都。同時代の二つの舞台を対比しつつ、首都からみた関西文学の特性を考察した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 6月 菊池寛「藤十郎の恋」</li> <li>② 7月 坂口安吾「桜の森の満開の下」</li> <li>③ 8月 三島由紀夫「近代能楽集 卒塔婆小町」</li> <li>④ 9月 川端康成「古都」</li> <li>⑤ 10月 志賀直哉「城崎にて」</li> <li>⑥ 11月 井上靖「三ノ宮炎上」</li> <li>⑦ 12月 江戸川乱歩「人間椅子」</li> <li>⑧ 1月 陳舜臣「枯草の根」</li> </ul>
<p>5) 生涯学習 神戸海星女子学院大学「関西文化が育んだ文学春コース (全8回)」</p>	<p>2018 (平成30) 年5月～ 2018 (平成30) 年8月</p>	<p>関西文化の影響を受けた8人の作家の作品を読み解いた。</p>
<p>6) 生涯学習 神戸海星女子学院大学「関西文化が育んだ文学秋コース (全10回)」</p>	<p>2018 (平成30) 年10月～ 2019 (平成31) 年1月</p>	<p>関西文化の影響を受けた1作家の1作品を詳細に読み解いた。(万城目学「悟浄出立」)</p>

<p>7) 生涯学習 宝塚公民館 「関西文化に育まれた文学」 (全8回)</p>	<p>2019 (平成31) 年6月～ 2020 (令和2) 年1月</p>	<p>宝塚歌劇で演じられた作品・宝塚の卒業生が演じた作品の原作に注目し考察した。</p> <p>① 6月 坪内逍遥「桐一葉」 ② 7月 樋口一葉「たけくらべ」 ③ 8月 泉鏡花「天守物語」 ④ 9月 谷崎潤一郎「春琴抄」 ⑤ 10月 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」 ⑥ 11月 太宰治「グッドバイ」 ⑦ 12月 司馬遼太郎「燃えよ剣」 ⑧ 1月 つかこうへい「蒲田行進曲」</p>
<p>8) 生涯学習 神戸海星女子学院大学「関西文化が育んだ文学春コース」 (全7回)</p>	<p>2019 (令和元) 年5月～ 2019 (令和元) 年7月</p>	<p>関西文化の影響を受けた7人の作家の作品を読み解いた。</p>
<p>9) 生涯学習 神戸海星女子学院大学「初心者のための伝統芸能入門」 秋コース (全9回)</p>	<p>2019 (令和元) 年10月～ 2020 (令和2) 年12月</p>	<p>日本の伝統芸能の内、落語・文楽・歌舞伎・能狂言が世界でどのように評価されているかの考察をおこなった。</p>
<p>10) 生涯学習 宝塚公民館 「関西文化に育まれた文学」 (午前の部・午後の部、全5回×2)</p>	<p>2020 (令和2) 年10月～ 2021 (令和3) 年2月</p>	<p>宝塚歌劇で演じられた作品の原作に注目し考察した。</p> <p>① 10月 近松門左衛門「冥土の飛脚」 ② 11月 上田秋成「雨月物語」 ③ 12月 山本周五郎「さぶ」 ④ 1月 吉川英治「宮本武蔵」 ⑤ 2月 浅田次郎「壬生義士伝」</p>
<p>11) 生涯学習 神戸海星女子学院大学「日本のアニメと近代文学」 (全8回)</p>	<p>2021 (令和3) 年10月～ 2021 (令和3) 年12月</p>	<p>スタジオジブリ製作の作品を取り上げる、これらの作品世界をより詳しく考察するために、これまでの日本近代文学作品では同様テーマがどのように描かれてきたかを考察した。</p>
<p>12) 生涯学習 宝塚公民館 「関西文化に育まれた文学」 (全8回)</p>	<p>2021 (令和3) 年6月～ 2022 (令和4) 年1月</p>	<p>宝塚歌劇で演じられた作品の原作に注目し考察した。</p> <p>① 6月 田辺聖子「新源氏物語」 ② 7月 井上靖「楊貴妃伝」 ③ 8月 藤沢周平「蟬しぐれ」 ④ 9月 高橋克彦「火怨」 ⑤ 10月 「万葉集」 ⑥ 11月 森鷗外「舞姫」 ⑦ 12月 手塚治虫「ブラック・ジャック」 ⑧ 1月 三島由紀夫「春の雪」</p>

13) 生涯学習 芦屋公民館「冬の公民館講座」 「芦屋再発見！ 近現代文学から」	2021（令和4）年2月	小川洋子「ミーナの行進」に描かれた阪神			
14) 生涯学習 宝塚公民館 「関西文化に育まれた文学」（全8回）	2022（令和4）年6月～ 2023（令和5）年1月	神戸を舞台とした作品を考察した。 ① 6月 神戸と坂の物語 ② 7月 神戸と海の物語 ③ 8月 神戸トアロード物語 ④ 9月 神戸異人館物語り ⑤ 10月 神戸新開地物語 ⑥ 11月 関東大震災と神戸の文学 ⑦ 12月 神戸とレトロな物語 ⑧ 1月 神戸青谷・王子を舞台とした物語			
15) 西宮市文化振興財団 生涯学習講座「西宮文学案内 前期講座」	2022（令和4）年8月	「井上靖の描く関西・西宮」			
16) 生涯学習 神戸海星女子学院大学「関西文化が育んだ文学」（全8回）	2022（令和4）年5月～ 2022（令和4）年7月	関西文化の影響を受けた8人の作家の作品を読み解いた。			
17) 生涯学習 芦屋公民館「夏の公民館講座」 「神戸とミステリー」	2022（令和4）年7月～ 9月	江戸川乱歩「人間椅子」・横溝正史「悪魔の手毬唄」・陳舜臣「六甲山心中」			
18) 生涯学習 芦屋公民館「冬の公民館講座」 「関西の伝説と近代文学」	2022（令和4）年1月～ 3月	森鷗外「生田川」・泉鏡花「天守物語」・小泉八雲「生き神様」			
4 その他教育活動上特記すべき事項					
1) 社団法人 ひょうごツーリズム協会主催「ひょうごのまち歩き」参加	2010(平成22)年～ 2018(平成30)年	2010年から、毎年11月に実施した。大学のある青谷の観光コースを設定し、学生ガイドに参加者の案内をさせるための指導を行った。ツアーコンダクターの希望者の実施訓練ともなるこの企画は、同時に地域貢献の役割も果たした。			
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号 数）等の名称	編者・著者名 （共著の場合のみ記入）	該当頁数

著書					
りぶれっと「新聞から見る1923年の神戸 『大阪朝日新聞 神戸附録』の研究」	共著	2019(令和元)年10月	神戸近代文化研究会編集 関西学院大学出版会発行 K.G りぶれっとNo, 48		55頁～66頁 「おわりに」
論文等					
論文「菊池寛と一九二〇年代の神戸 一九二〇年代前半の『大阪朝日新聞 神戸附録』を資料として」	単著	2018(平成30)年3月	「研究紀要」(第56号)神戸海星女子学院大学研究委員会		43頁～48頁
論文「元禄11年の近松狂言『ヲサン茂兵へ』-菊池寛『藤十郎の恋』の周辺」	単著	2021(令和3)年8月	「文藝 もず」(第22号)高松市菊池寛記念館		182頁～191頁
論文「菊池寛と1920年代の神戸(その3) 1928・1929年の「大阪朝日新聞 神戸版」を資料として」	単著	2022(令和4)年2月	「研究紀要」(第60号)神戸海星女子学院大学研究委員会		51頁～58頁
発表・依頼講演					
記念講演 「モダンがレトロにかわるとき～昭和40年代の神戸と文学」		2018(平成30)年6月	企画展「昭和レトロ～40年代の神戸と文学」神戸文学館		
大学連携講座 「神戸と文学」		2018(平成30)年12月	こうべ生涯学習カレッジ(コミスタ神戸)		

記念講演 「憧れの神戸～トアロード物語」		2019（令和元）年10月	企画展「トアロード お洒落で不思議な国際通り」神戸文学館		
大学連携講座 「神戸の風景と文学Ⅰ」		2019（令和元）年8月	神戸老眼大学（神戸市生涯学習センター）		
記念講演 「1920年代の神戸と文学・芸能について」		2020（令和2）年8月	企画展「東西見聞録」神戸文学館		
記念講演 「神戸で花開いた大衆文化」		2020（令和2）年10月	企画展「新開地物語」神戸文学館		
大学連携講座 「神戸の風景と文学Ⅱ」		2021（令和3）年9月	神戸老眼大学（神戸市生涯学習センター）		
大学連携講座 「神戸の風景と文学 トアロード」		2021（令和3）年12月	こうべ生涯学習カレッジ（コミスタ神戸）		
菊地寛記念館「文芸講座」 「菊地寛『藤十郎の恋』と上方歌舞伎」		2022（令和4）年2月	高松市 菊池寛記念館		
その他					
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					

日本文藝学会	常任理事（2013(平成25)年12月～現在）・会計監査（2009(平成21)年6月～2013(平成25)年11月）
神戸近代文化研究会	代表者（2015(平成25)年4月～2018（平成30）年3月）
阪神近代文学会	運営委員（2009(平成21)年7月～2012(平成24)年7月）